

能と狂言

人間国宝の競演

—友枝昭世と山本東次郎の至芸—



狂言「昆布売」
山本東次郎
撮影：神田佳明



能「自然居士」
友枝昭世
撮影：神田佳明

●開催日 平成29年5月3日(水・祝) 14:00開演(13:30開場)
●会場 川崎市麻生市民館ホール
●料金 SS席6,000円 S席5,000円(全席指定)

●アフタートーク
馬場あき子
山本東次郎
友枝昭世

●地謡
香川 靖嗣
長島 茂
狩野 了一
友枝 雄人
金子敬一郎
内田 成信
大島 輝久
友枝 真也

●能
自然居士
じねんこし
シテ
友枝 昭世
子方
大島 伊織
ワキ
宝生 欣哉
ワキツレ
則久 英志
アイ
山本 則重
松田 弘之
森澤 勇司
大鼓
大倉慶乃助
後見
中村 邦生
塩津 圭介

●狂言
昆布売
シテ(大名)
山本東次郎
アド(昆布売)
山本 則俊

●解説
馬場あき子

チケットご購入のご案内 2月1日(水)より一般発売スタート! 良いお席はお早めに。

1. インターネット

アルテリッカしんゆりチケットセンター(24時間対応)
〈PC〉<http://www.artericca-shinyuri.com/>
〈携帯〉<http://www.artericca-shinyuri.com/m/>

2. 電話予約

アルテリッカしんゆりチケットセンター
(9:30~17:00/土・日・祝を除く ※4/1より毎日営業)

TEL.044-955-3100

3. 窓口販売 (A、B、C、D、E/地図参照)

- A 川崎市アートセンター (9:00~19:30/毎月第2月曜除く)
- B 新百合21ホール (9:30~17:00/毎月最終月曜除く)
- C マイタウンチケットセンター (新百合ヶ丘マペル写真工房 彩|内 9:00~21:00/不定休)
- D 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝除く)
- E 昭和音楽大学北校舎 (10:00~17:00/日・祝除く)

★お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます

主催:公益財団法人川崎市文化財団 共催:川崎・しんゆり芸術祭2017実行委員会 後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
お問合せ▶川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2017実行委員会事務局

TEL.044-952-5024 FAX.044-955-3212



能と狂言

人間国宝の競演

—友枝昭世と山本東次郎の至芸—

狂言

昆布売【こぶうり】

用があって都へ上る大名ですが、今日はあいにく供をする者がおらず、自分で太刀を持つての道中は格好が悪く思っています。通りがかりの者を捕まえて「太刀持」をさせようと



撮影：神田佳明

考えているところへやって来たのは、若狭の国、小浜の昆布売りでした。大名に脅されて嫌々ながら太刀を持つはめになる昆布売り。しかし、その瞬間から「太刀」つまり武器は、昆布売りの手に移り、たちまち両者の立場は逆転していきます。

小歌節・平家節・踊り節などの中世歌謡を取り込んだ売り声、狂言ならではの楽しい曲です。脅したはずの昆布売りに逆に脅され、屈辱的な仕事をさせられる大名が次第にそれを楽しんでいく様子がうかがえます。

昆布売りの担いでいる小道具の昆布は小さな物ですが、これは狂言特有の象徴的な表現で、実は何十キロもの大きな荷であるとお考えください。

能

自然居士【じねんこじ】

雲居寺門前の者(アイ)が自然居士が雲居寺造営のため七日間の説法をしている旨を述べ、今日が結願の日であると言います。やがて自然居士(シテ)が登場し説法を始めると、一少女(子方)が両親の追善のため身を売って得た小袖を添えて読経を願う文を持ってきます。居士はこの文を聞き読み上げてみると、そこへ人商人(ワキ・ワキツレ)がきて、昨日少しのいとまを請うた少女がまだ帰らず探していると触れ、少女を見つけると連れ去ってしまいます。自然居士は、親の追善がしたさに身を売った少女を救うために説法を中止して大津松本の湖岸へ急ぎます。人商人が、舟を漕ぎだしたところへ自然居士が追いつき、小袖を渡し、引き留めます。人商人はいったん人を買った上は二度と返さぬ規則があるといい女を戻そうとしませんが、自然居士は不幸な者を救うことができなければ二度と庵室へ帰らない規則があるというので人商人はやむなく承諾するが、ただで返すのは残念と自然居士をなぶります。自然居士は乞われるままに舞を舞い、ササラをすすり、羯鼓を打って、やっと人商人から少女を取り戻し、共に都へ帰ります。



撮影：神田佳明

プロフィール

友枝 昭世(ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年／能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多美氏に師事
- 1978年／第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年／第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年／「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年／春の紫綬褒章受賞
- 2003年／日本芸術院賞受賞
- 2004年／伝統文化ポークラ賞大賞受賞
- 2008年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年／日本芸術院会員に就任

山本東次郎(やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



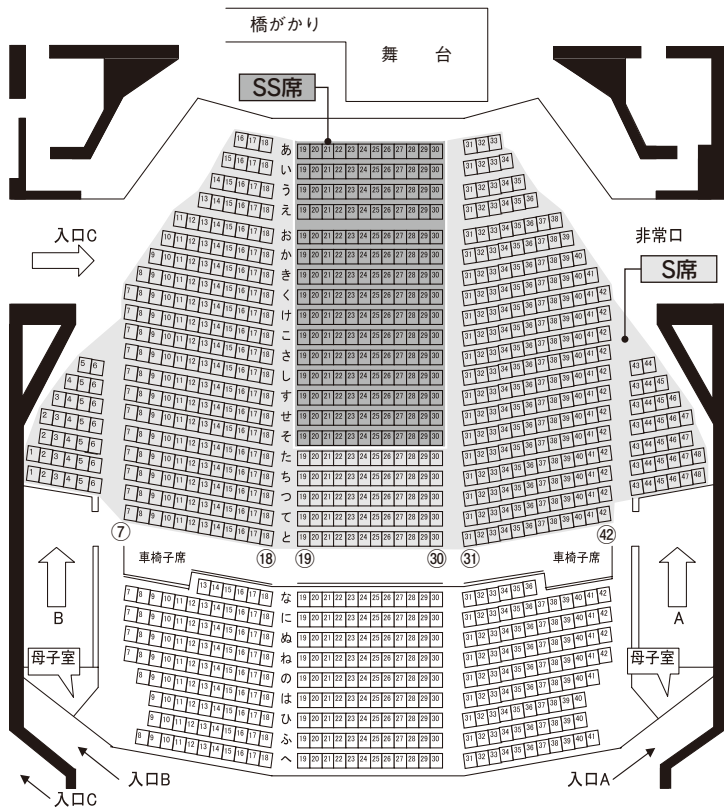
- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年／芸術祭奨励賞受賞
- 1992年／芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年／紫綬褒章受賞
- 2001年／エクスンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年／日本芸術院賞受賞
- 2012年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長。
- 著書
「狂言のすずめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子(ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)